

711K トーンプローブセット

取扱説明書



本探索機をご利用になる前に、取扱説明書をよくお読みになり内容を充分ご理解頂いた上でご使用下さい。間違ったご理解によるご利用は怪我、もしくは死亡事故を招く恐れがありますので、ご注意ください。



重要

通常のトーン発信は発信機のスライドスイッチを必ず【off/polarity】の位置で行ってください。

① **【off/polarity】** 以外の場所でのトーン発信は、発信音が小さくなると同時に、ADSL・ISDN などの高電圧の現用線にご利用になられると基板の発熱損傷を引き起こすおそれがあります。

② 本機は耐圧 60VDC の電話回線専用探索機で、活線 100VAC の電源ケーブル探索にはご利用いただけません。

(無電圧線の探索はケーブル種を問わずご利用いただけます)

安全にご使用いただくために

絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

また、警告・注意表示以外でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってご使用下さい。この警告マークは、作業に従事される方に注意を促します。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、重傷もしくは死亡事故を招く恐れがあります。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、怪我を負う恐れがあります。

保管時のお願い

7 7 GX 送信機の保管時はモードスイッチを必ず **OFF/Polarity** の位置まで戻してください。

保証書

※ 御使用者 住 所 氏 名	
モデル NO. 711K	品 番
保証期間 年 月より 1 ヶ年	

お願い 本保証書は、アフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本機の最終御使用者のお手許
に保管してください。

保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は、保証規定に基づき無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 保証書の再発行はいたしません。
4. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外致します。
 - a. 不適当な取扱い使用による故障
 - b. 設計仕様条件等を越えた取扱い、使用または保管による故障
 - c. 当社もしくは当社が委託した者以外の改造又は修理に起因する故障
 - d. その他当社の責任とみなされない故障

販売店名

輸入発売元 **株式会社 グッドマン**
236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-3-3
TEL 045-701-5680
FAX 045-701-4302
<http://www.goodman-inc.co.jp>



感電注意

- 活線に触れると重傷もしくは死亡事故になる恐れがあります。
- 本機を雨の中や湿気の高い場所に放置しないでください。
- この取扱説明書の内容以外の目的には使用しないでください。本機に搭載されている保護機能が損なわれる恐れがあります。
- テストリード線及び付属品は電圧やカテゴリーを確認して適切な物を使用してください。
- テストリード線及び付属品は使用する前に、汚れがないか、濡れていないかどうか確認してください。またケーブルも損傷がないことを確認してください。
- 電池ケースを開ける前に必ずテストリード線をケーブルからはずし電源を切ってください。
- 本機を分解して修理などを行わないでください。

誤ったご使用は重傷もしくは死亡事故を招く恐れがあります。



注意

- 本機の分解・修理などを行わないでください。
- 本機を極端に高温高湿な場所に放置しないでください。

誤った取扱をすると、怪我を負う恐れ及び本機の損傷を招く場合があります。

はじめに

このたびは 711K トーンプロブセットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に本書を正しくお読みにになり安全にご利用ください。

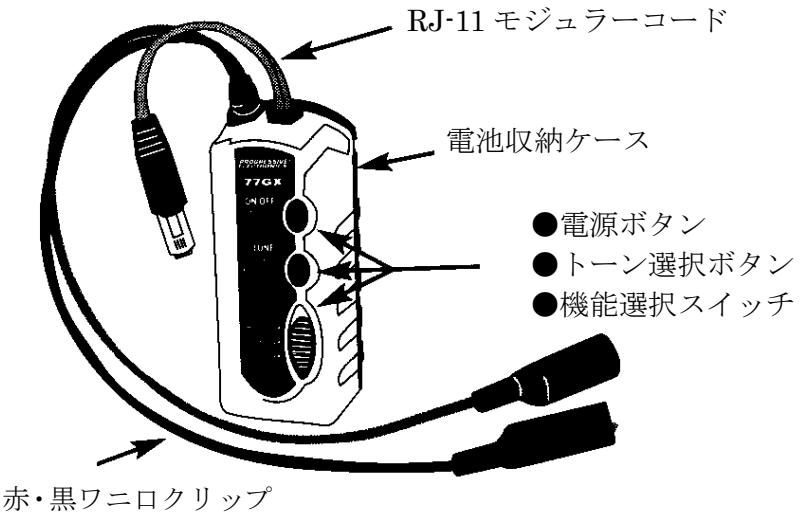
77GX トーン発信機

概要

77GX トーン発信機はペア線の対照及び通信ケーブルの探索を行う際に、トーン信号をペア線又はケーブルの心線とアースに送ります。
3 種類のトーンパターンの選択及び信号の強弱切替やラインの極性テストそしてブレストの電源供給機能をボタン操作で簡単に行うことができます。

特長

- （早い、中間、遅い）の 3 種類のトーンパターンの選択
- 2 本のテストリード線及び取り外しが可能な RJ-11 モジュラープラグ・ジャックを装備
- 極性チェックに有効な赤・緑の 2 色 LED を採用
- 距離に応じた強弱 2 段切り替えの信号出力
- 赤(強)・黒(弱)の送信出力の違いで (L1)・(L2) の識別



77GX トーン発信機の信号は下記の受信機と互換性があります。
200EP・200GX・200FP・200XP

クリーニング

定期的に、湿らせた布で本機を拭いて下さい。研磨剤や溶剤は使用しないで下さい

仕様

発信機

ブレスト供給電圧	5.5VDC
出力 (600Ω 入力) Hi power Lo power	+8dBm +1dBm
出力周波数 (最小) : トーン信号 Slow Medium Fast	交互音 577/984Hz ±1% 1.3Hz 6Hz 13Hz
耐 圧	60VDC(600Ω)
電 源	9V 電池×1(006p)
電池寿命	100 時間
オートパワーオフ機能	4 時間(トーンモードで)
寸 法	101×41×38 mm
重 量	150 g
作動温度	0℃～50℃
湿 度	80%(最大)

受信機

受信感度	30dB
入力インピーダンス	100MΩ
先端チップ抵抗値	3kΩ (最小)
電 池	9V 電池×1(006P)
電池寿命	50 時間
寸 法	229×48×35 mm
重 量	150 g (電池共)
作動 (保管) 温度	0～50℃
湿 度	80%

【オプション】

- ・RPT-2 先端チップセット
- ・RPC 高級ワニ口クリップ
- ・200C 高級レザーケース
- ・ニッケル水素充電電池セット



ニッケル水素充電電池セット

※保障期間終了後の修理も承ります。

操作方法

1. 77GX トーン発信機をケーブルに接続します。(P5 をご参照ください)
2. 200GX の電源ボタンを押しながら電源を入れ、送信機の近くで受信機のトーン音を聞いて、トーン発信機が作動していることを確認してください。その際にトーン音の種類も確認してください。
3. 感度を現場の状況にあわせて調節してください。車道、飛行場、エンジンルームなどでは受信感度を上げ、干渉の少ない場所では感度を下げることができます。
4. 探索しているケーブルの中で一番トーン音が大きく LED が明るく点灯するものが目的のケーブルとなります。

注意：電源ボタンを押さずに受信機を使用する場合は以下のいずれかの方法で実行してください。
(どちらの方法もスピーカーを使わずに LED ランプだけで表示します)

1. 電話検査機、もしくはヘッドホンをブレスト用端子に接続します。
2. ジャンパーケーブルを2つのブレスト用端子に接続します。



注意

ブレスト用端子はブレストもしくはヘッドホンのみに使用してください。

メンテナンス

電池交換

1. 受信機の電源を切ります。
2. 受信機をケーブルから離します。
3. 電池ケースのねじをはずしカバーを取ります。
4. 電池を交換します。(極性に注意してください)
5. 電池カバーをねじで取り付けます。



警告

重傷もしくは死亡事故を招く恐れがあるので、電池ケースを開ける前に、必ず、受信機をケーブルから離して電源を切ってください。

先端チップの交換 (破損時)

1. 先端チップに近くのをねじをゆるめます。
2. 先端チップを引き抜きます。
3. 先端チップを交換し、ねじを締めます。

操作方法

極性テストと回線状態の確認

スライドスイッチを【Off/Polarity】に合わせます。黒いリード線を単独アースに接続し、赤いリード線を心線に接続します。もし単独アースがない場合は、黒いリード線をベア線のもう一方に接続します。【Line 1】の LED が以下のように極性を色で表示します。

- LED が緑に点灯：赤リード線は L1 (－) に接続されています
- LED が赤く点灯：赤リード線は L2(+) に接続されています
- LED が赤と緑に点滅(黄色く点灯している様にも見えます)：

赤リード線が接続した回線に交流の混入があることを示しています

注意：LED がはっきりせずにかすかな点灯(黄色)の場合は、ビジー回線もしくは誤回線であることを示しています

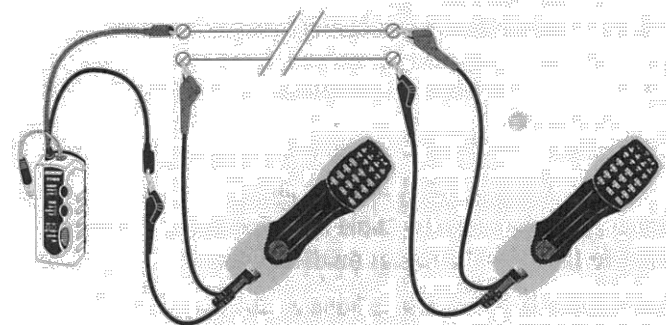
Line 2 の極性を確認する場合は、RJ-11 モジュラープラグ接続を使用してください。

回線の確認

1. スライドスイッチを【Off/Polarity】に合わせ、赤いリード線をケーブルの L1(－) 側に、黒いリード線を L2(+) 側に接続します。
2. 確認したい回線をダイヤルで呼び出します。確答する回線であれば【Line 1】の LED が赤と緑に点滅し、呼び出しが切れます。

ブレスト電源供給

1. テストリード線が無電圧線上のブレストに下記の図の様に直列に接続します。
2. スライドスイッチを【Talk】にします。
3. ブレストを接続すると会話、障害検出が可能になります。



トーン発信と探索

スライドスイッチを【off/polarity】の位置に合わせます。

発信機の ON/OFF ボタンを押すと【Hi Pwr】の LED が点滅し、再度押すと【Lo Pwr】が点滅します。＊再度押すと電源は【OFF】に戻ります。

Tone ボタンを押してトーン音の間隔を【Slow】、【Medium】、【Fast】から選びます。状況に合わせてトーンパターンを選択してください。

1.下記のいずれかの方法で発信機を探索する回線に接続します。

① **MJ に接続** : モジュラープラグをモジュージャック (MJ) に接続します。信号はモジュラープラグの中心の 2 芯に送信されます。

② **ペア線の探索** : 赤リード線をペア線の【L1】側に、黒リード線を【L2】側に接続します。

＊注意：カテゴリー 5 の様にツイストの強いケーブルは、赤・黒リード線をそれぞれ別のペア線に接続します。(例：赤リード線をペア線の【L2】側に、黒リード線を別のペア線の【L2】側に接続)

③ **ケーブルの探索** : 赤リード線を探索するケーブルの心線に、黒リード線をアースに接続します。

＊注意：アースは単独のものを使用し、ケーブルシースと同電位のものはお避けください。

④ **同軸ケーブル** : 赤リード線をシールドに、黒リード線を心線に接続します。

2.ケーブルを受信機で探索します。

● 一番強い感度を示すケーブルが目的の心線又はケーブル本体です。

注 1 : 導通テストを行う際は、極性を確認してケーブルに電力がないことを確認してください。

注 2 : ペア線がショート状態のときは発信されません。

導通チェック

1.スライドスイッチを【Off/Polarity】にして、赤リード線をケーブルの【L1】に、黒リード線を【L2】に接続してください。

2.スライドスイッチを【Continuity】に切り替えて LED が赤く点灯すると導通を示しています。

＊注意：回線の抵抗が 10kΩ 超えると LED は点灯しません。

●711K トーンプローブセットは、『無電圧』の電気ケーブル、通信ケーブル、制御線などの探索を被覆の上からを容易に行なうことが可能となります。

電池交換

1. 電源を切って、発信機をケーブルから外します。
2. 2つのねじを外し、カバーを取ります。
3. 電池を交換します。(極性に注意してください)
4. カバーとねじをもどします。

200GX 受信機

概要

200GX 受信機は 77GX トーン発信機と併用することで、60VDC までの電気ケーブル、通信ケーブル、制御線などの探索及び障害検出を、ケーブルの被覆上から行うことができます。

特長

- 受信感度の調節用ボリューム
- ブレスト使用により外部スピーカーが消音となる接続端子を装備
- 電池消耗を防ぐ使用時のみ電源の入る電源ボタン
- ショートのない安全な樹脂製先端チップ

